

# 5月の野菜の見通し

平成30年4月20日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,434	微増	10,063	91	88%	88	0	0.0%	<p>【生育・入荷見通し】 千葉産は1月下旬の降雪、低温による播種作業の遅れから作付け増。気温高のため関東産地は総じて生育前進傾向にあり、肥大も順調。作付け増と太物発生が多い見込みから、総体の予想入荷量は順調だった前年より微増。</p> <p>【価格見通し】 上旬はやや出荷の谷間となり上げ気配強まるが、中旬は動きも鈍く下げに転じる見通し。需要停滞する時期に数量増となる中、価格は、前年、平年比でも安い。</p>
ほうれん そう	1,521	微増 (平年 並み)	1,462	436	92%	441	0	0.0%	<p>【生育・入荷見通し】 各産地とも播種も順調にできており、生育は概ね順調。小松菜への転作、高齢化等で作付け減少の産地もあり、総体の予想入荷量は潤沢だった前年より微減もほぼ平年並み。</p> <p>【価格見通し】 上旬は各産地とも量が出揃い下げ気配強まり、基調安の流れが続く模様。価格は前年、平年ともに下回る。</p>
ねぎ	3,747	102%	414	3,657	99%	400	5	0.1%	<p>【生育・入荷見通し】 茨城産、千葉産とも前年に引続き、夏ねぎは作付け微増。現状、低温、乾燥等で若干遅れ気味も生育は概ね順調。作付け増の流れの中、5月は平年作の見込みから、総体の予想入荷量は前年比102%。</p> <p>【価格見通し】 4月下旬～5月上旬にかけて田植え作業の準備、春ねぎから夏ねぎへの移行期により品薄感強まり、上げ気配強まる。中旬以降は夏ねぎが増量するも需要もあり保合い推移。価格は前年、平年並み。</p>
きゅうり	9,282	前年 並み	8,794	233	94%	230	40	0.4%	<p>【生育・入荷見通し】 関東産地中心に各産地とも作付け微減。一部産地では乾燥気味のため生育やや遅れは見られるも、総体では概ね順調。促成物の出荷状況は多少落ち着くが、無加温物、東北産他は増量に向かう。</p> <p>【価格見通し】 ほぼ保合い推移。価格は前年より若干安だが平年並み。</p>
トマト	10,263	前年 並み	10,200	280	100%	297	14	0.1%	<p>【生育・入荷見通し】 関東産、西南暖地産ともに春作は平年作と順調。入荷量は日々変動はあるも月通じて安定入荷し、総体の予想入荷量は前年並み。</p> <p>【価格見通し】 入荷数量に不足はなく、売込みをかけたがりの販売となり、相場は保合い推移。価格は前年並みだが、平年比ではやや安。</p>

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、野菜の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)